

# マイクロソフトの「対象デバイス」と「対象ユーザー」

この簡易ガイドは、すべてのマイクロソフト ライセンス プログラムに適用されます。

## 目次

概要.....	1
詳細.....	1
対象デバイス.....	1
除外.....	2
対象ユーザー.....	4
よく寄せられるご質問 (FAQ).....	4

## 概要

このライセンス簡易ガイドでは、Microsoft Enterprise Agreement (EA) などの該当するマイクロソフト コマーシャル ライセンス契約および加入契約の下で、どのようなデバイスが「対象デバイス」であり、どのようなユーザーが「対象ユーザー」であるかについて説明しています。

## 詳細

### 対象デバイス

Microsoft Enterprise Agreement (EA) 加入契約など一部のコマーシャル ライセンス契約および加入契約では、対象デバイスの数などに基づく段階的な価格設定で、組織全体のライセンスを提供しています。マイクロソフトの対象デバイスの定義は以下のとおりです。

“対象デバイス”とは、加入契約関連会社のエンタープライズにより、またはそのために使用されている、(1) Windows Pro をローカルで (物理または仮想オペレーティング システム環境で) 実行することができるパーソナル デスクトップ コンピューター、携帯型コンピューター、ワークステーションおよび同様のデバイス、または (2) バーチャル デスクトップ インフラストラクチャ (「VDI」) にアクセスするために使用されるデバイス、を意味します。ただし、(1) サーバーとして指定されていてパソコンとして使用されないデバイス、(2) 産業デバイス、または (3) 管理対象デバイスに該当しないデバイスは、対象デバイスには含まれないものとします。加入契約関連会社は、自己の裁量で、加入契約関連会社のエンタープライズにより、またはそのために使用される、上記で除外されているデバイス (産業デバイスなど) を、加入契約関連会社が選択したエンタープライズ製品またはオンライン サービスの全部または 1 つのカテゴリについて対象デバイスに指定することができます。

注: 2019 年 10 月時点の Microsoft EA 加入契約に規定されている対象デバイスの定義

## 除外

定義に規定するとおり、産業デバイスや管理されていないデバイスなど、特定のデバイスは明確に除外されます。お客様は任意の除外されたデバイスを、選択したエンタープライズ製品またはオンライン サービスの全部または一部の対象デバイスとして含めることができます。既存の加入契約の下でこれらの追加デバイスのライセンスを取得すると、別の契約でライセンスを取得した場合とは異なり、割引やその他の特典を利用できる可能性があるため、これらのデバイスを含めることをお勧めします。特に産業デバイス (以下に詳しく定義)、管理されていないデバイス (以下に詳しく定義)、およびサーバー (サーバー オペレーティング システムを実行し、サーバーとしてのみ使用されるデバイス) など、除外されるデバイスのいくつかは容易に判断できます。

## 産業デバイス

“産業デバイス”とは、一般には業務処理専用デバイスとして認知されているもので、(1) 導入された設定においては一般的な目的のパーソナル コンピューター機器 (パーソナル コンピューターなど)、多機能サーバー、またはこれらのシステムの商業的に実現可能な代替として使用することができず、かつ (2) 建築用 CAD プログラムまたは POS プログラム等の、特定の業界または業務処理専用のソフトウェア (以下「産業プログラム」といいます) のみを使用するデバイスを意味します。産業デバイスには、マイクロソフトまたは第三者製のソフトウェアの特徴および機能を含むことがあります。デバイスが、電子メール、ワード プロセッシング、表計算、データベース、ネットワークもしくはインターネット閲覧、スケジュール管理または個人用ファイナンス管理等のデスクトップ機能を有する場合には、かかるデスクトップ機能が (1) 産業プログラムを機能的にサポートする目的のみに使用することができ、かつ (2) 産業プログラムに技術的に統合され、または産業プログラムの機能を使用する際にのみ使用できるようなポリシーもしくはアーキテクチャが技術的に強制されている場合にのみ、産業デバイスに該当します。

注: 2019 年 10 月時点の Microsoft EA 加入契約に規定されている産業デバイスの定義

## 管理されていないデバイス – 「管理」されているかどうかを判断するには

お客様のボリューム ライセンス契約が管理対象デバイスの定義について本製品条項、製品表、または製品使用権説明書を参照している場合、以下の条件が適用されます。お客様は、1 つ以上のオペレーティング システム環境を直接または間接的に制御するデバイスを「管理」します。たとえば、お客様が管理する以下のようなデバイスをいいます。

- ドメインに参加するデバイス、または
- 社内での使用時にアプリケーションを使用する要件として認証されるデバイス、または
- エージェント (ウイルス対策、マルウェア対策その他のお客様のポリシーにより強制的に適用されるエージェントなど) をインストールするデバイス、または
- グループ ポリシーを直接または間接的に適用し、強制するデバイス、または
- 直接または間接的にオペレーティング システム環境と関連付けられるハードウェアまたはソフトウェアに対し、データを請求する、構成する、または指示を与えるデバイス、または
- Windows SA、Microsoft Intune (デバイス) または Windows Virtual Desktop Access のローミング使用権が適用されていない仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) にアクセスするデバイス

ローミング使用権に基づいてのみ VDI にアクセスするか、またはお客様の社外にある「対象となる第三者のデバイス」上で Windows To Go を利用するデバイスであり、ここに規定するその他の目的のために管理されないデバイスについては、この定義においては「管理」とは見なされません。

**注:** 「対象デバイス」における「管理」の定義 (製品条項 2020 年 11 月)

「管理」の定義をチェックリストにすることをお勧めします。デバイスに、管理の例のいずれか (ドメインに参加しているなど) が当てはまる場合、そのデバイスは管理されているため、「対象デバイス」となります。

管理対象のデバイスかどうかを判断するための一般的な確認事項は、以下のとおりです。

- 1) 社内から VDI に接続するデバイスは常に対象デバイスです。
- 2) 管理されているデバイスはすべて対象デバイスと見なされます。以下はすべて、「管理」に相当します。
  - デバイスが組織のドメインに参加している。
  - デバイスが、社内での使用時にアプリケーションを使用する要件として認証されている。
  - エージェント (ウイルス対策、マルウェア対策その他の組織のポリシーにより強制的に適用されるエージェントなど) がデバイス上にインストールされている。
  - Windows グループ ポリシー (またはその他の管理ソフトウェアにより管理されるポリシー) を直接または間接的に適用し、強制する (デバイスをスキャンし、それが最新の状態でないときにユーザーに通知のみを行う場合は除外される)。

- 組織が直接または間接的にオペレーティング システム環境と関連付けられるハードウェアまたはソフトウェアに対し、データを請求する、受信する、構成する、または指示を与える。

## 対象ユーザー

---

対象デバイス向けの組織全体のライセンス オプションと同様に、対象デバイスのライセンスの代わりに、対象ユーザーのライセンスを取得することができます。あるいは、両方のライセンスの組み合わせを取得することもできますが、これは、ライセンスが適用されないすべての対象デバイスを、ユーザー ライセンスが適用されるユーザーのみが使用する場合に限られます。Microsoft Enterprise Agreement (EA) 加入契約などの一部のコマーシャル ライセンス契約および加入契約では、対象ユーザーの数などに基づく段階的な価格設定で、組織全体のライセンスを提供しています。マイクロソフトの対象ユーザーの定義は以下のとおりです。

“対象ユーザー”とは、(1) 各対象デバイスにつき 1 名のユーザー、または (2) エンタープライズ製品の Client Access License を必要とするサーバー ソフトウェアまたはエンタープライズ オンライン サービスへのアクセス保持者、である者 (従業員、コンサルタント、臨時スタッフなど) を意味します。ただし、製品条項において対象ユーザーの例外として明記されたライセンスのみに基づいてサーバー ソフトウェアまたはオンライン サービスにアクセスする者は、これに含みません。

注: 2019 年 10 月時点の Microsoft EA 加入契約に規定されている対象ユーザーの定義

## よく寄せられるご質問 (FAQ)

**Q1:** 加入契約の期間中に製品条項の「管理」の定義が変更された場合はどうなりますか。

**A:** 現行の加入契約期間の開始日時点で最新の定義が、お客様の次回の更新まで、引き続き効力を有します。

**Q2:** 従業員が個人のコンピューターを IT 部門に持ち込み、IT 部門で問題のトラブルシューティングを行ったり、従業員自身が購入したライセンス製品をインストールする場合はどうなりますか。

**A:** 従業員が個人的に使用するための (業務用でない) ソフトウェアをインストールするという IT 部門の行為によって、デバイスが対象デバイスとなることはありません。

**Q3:** Windows 10 を実行しているが、プリント サーバーとして使用されている PC は、サーバーの除外に従って対象デバイス数のカウントから除外できますか。

**A:** いいえ、できません。デバイスがサーバー オペレーティング システムを実行し、サーバーとしてのみ使用されているのでない限り、これらの目的のためのサーバーとは見なされません。

**Q4:** 産業デバイスで VDI を管理したり、産業デバイスから VDI にアクセスしたりすることはできますか。

**A:** 産業デバイスは要件から除外されており、対象デバイスとはみなされません。しかし、契約期間中いかなる場合においても、産業デバイスの定義に準拠しない産業デバイスは対象デバイスとみなされます。

**Q5:** マイクロソフトが "ゲスト" インターネット アクセスと見なすのはどのようなものですか。ゲスト インターネット アクセスへの接続により、デバイスは対象デバイスになりますか。

**A:** ゲスト インターネット アクセスとは、インターネット アクセス プロバイダー-販売業者を通じてユーザーが受け取れるものです。

そのようなアクセスでは、会社のリソースや、公共の Wi-Fi ホットスポットや自宅のインターネット接続では提供されないリソースへのアクセスは許可されません。デバイスに対し、会社のリソースや、公共の Wi-Fi ホットスポットや自宅のインターネット接続では提供されないリソースへのアクセスが許可されない限り、ゲスト インターネット アクセスへの接続により、そのデバイスが対象デバイスと見なされることはありません。

同様に、ゲスト インターネットの使用のみを目的とする認証行為により、デバイスが対象デバイスとなることはありません。

エージェントがデバイスにインストールされており、たとえば、接続を許可する前にお客様がデバイス上のウイルス対策ソフトウェアを更新する場合、その行為はデバイスの管理と見なされるため、そのデバイスは対象デバイスとなります。ただし、Windows およびウイルス対策ソフトウェアが最新の状態であることを確認するためにエージェントがデバイスを単にスキャンし、そのデバイスが最新の状態でないときにユーザーに通知のみを行うが、そのデバイス上で作業を行わない場合、そのスキャンにより、デバイスが対象デバイスと見なされることはありません。